

再開後のエジプト株式市場について

一昨日と昨日と1月27日以来、約8週間の株式市場の閉鎖後E G Xは再開された。

政府とカイロ取引所の取引規制(弊社デイリーニュース 23日付を参照)について綿密な打ち合わせの結果、種々の規制を受けながら市場再開初日は9%台の下げ、今日は3.37%の下げで終わった。予想通り再開初日は直ちに10%の値下げ制限でストップ安を付けた後、一時市場は取引停止に成ったが、その後30分で市場は再開され落ち着きを戻して取引高は過去の出来高より少ないながらも戻り始め、引け値はインデックスで8.92%まで戻して引けた。本日は売り物に押され下げ場面もあったが引けは安値の6.7%下げから引け値に向かって戻した。

特記すべき事は、1) 本日の上昇率トップ5銘柄はすべて戻りストップ高で、建設資材のセメント株、食品の製粉関連、製薬会社など今後のエジプト復興経済の過程に在って中心となる銘柄が急回復している。一方下げ幅の大きかったトップ5は銀行株、自動車株、不動産開発会社、タバコ株などで、市場としては今後のエジプト政治、経済社会の動向を冷静に受け止めていると窺われる。更に、2) 市場再開前の市場では15%台で推移していたアラブ諸国からの投資が7.8%の買い越しであること、過去の水準にはまだしばらく戻る事が出来ないとしても、欧州投資家の売り越し(74%)に対してポジティブな動きである事は見逃せない。

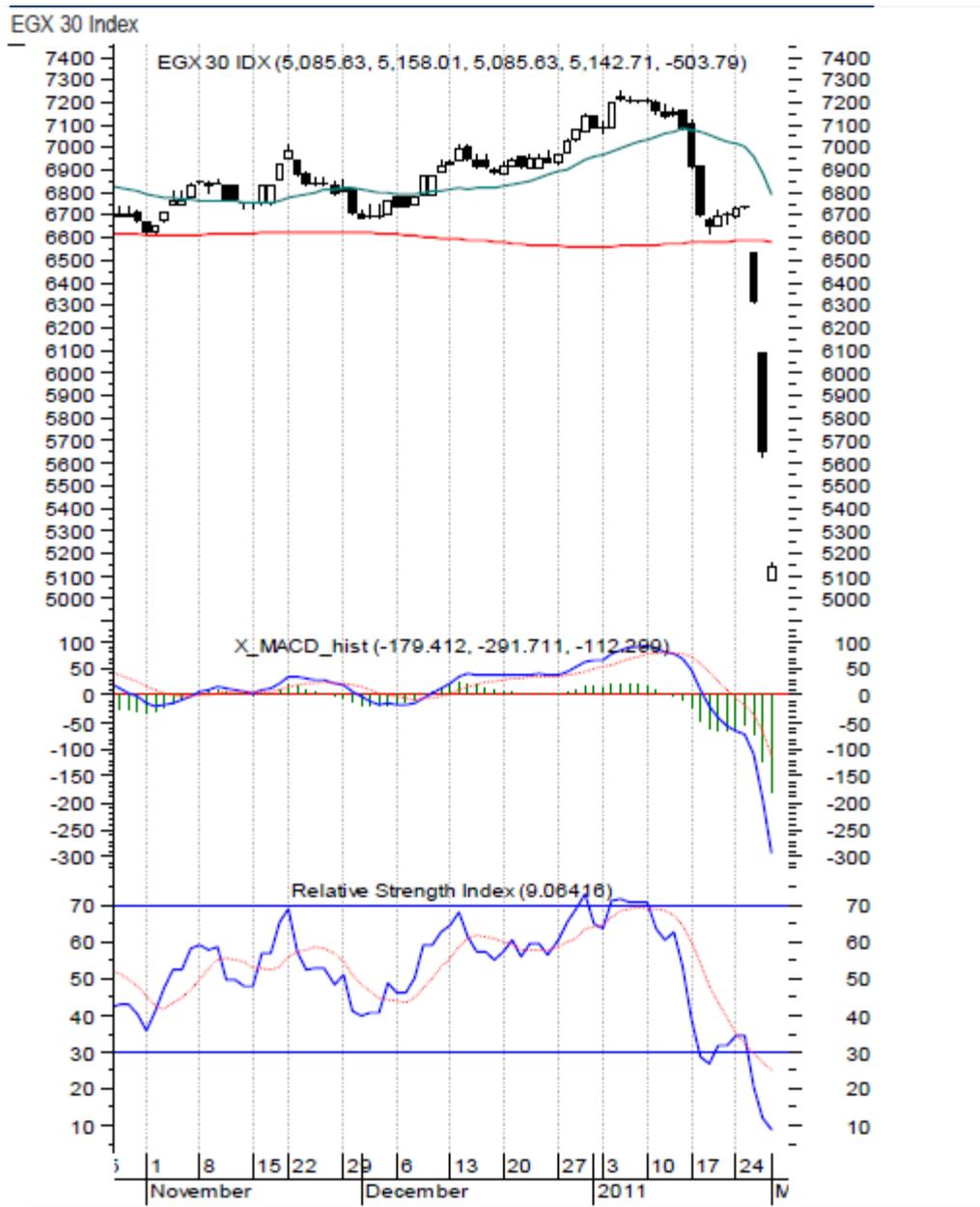
一方、テクニカル分析のアナリストは全く短期の株式市場の分析についてはお手上げの状態で暫くの期間(3-4ヶ月)は横ばいで推移すると見ている。

政治的、経済的背景として、今週全般に行われた憲法改正の国民投票がスムーズに行われたこと、今後6月の議会選挙とそれに続く新しい大統領選挙が行われること、そしてムスレム同胞団を中心として新しいエジプトの将来像が描かれれば、財政赤字、貿易収支の具体的な数字と問題点が明らかになり、政府の政策が出されるにつれ株式市場の回復場面が期待できるのではないか。エジプトにかなりの規模のアンダーグラウンド企業集団(一説には表経済の倍近くの規模とも考えられていた)が徐々に表経済に顕在化し、実質的にエジプトの経済

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。

の成長の一部の担い手に成れば、新しいエジプト経済の 5-6%台の従来の経済成長に戻る事が出来るのではないだろうか。但しそれには一定の時間が必要であろう。

EGX 30 インデックス (3月24日付)



Source: MetaStock

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。